

令和元年度 後期学校評価

伊予市立佐礼谷小学校 令和2年2月

【アンケート結果】	4：大変よい	3：よい	2：やや改善を要する	1：改善を要する
【評価基準】	A：肯定率90%	B：肯定率80%以上	C：肯定率60%以上	D：肯定率60%未満
【目標値評価】	A：全体肯定率90%以上	B：全体肯定率80%以上	C：全体肯定率60%以上	D：全体肯定率60%未満

項目	小項目 (重点目標)	評価指標及び目標値	前期・後期	目標値評価	学校による考察・改善	評価資料	評価基準	肯定率	アンケート結果(%)				
									4	3	2	1	
教育課程・学習指導	確かな学力の定着と向上	複式及び個に応じた指導法の工夫と改善を行い、基礎・基本の確実な定着に努めているか 目標値：教職員の８０％以上が肯定（３・４）	前期	A	概ね良好である。少人数という本校の特色を活かし、個別指導がしっかり行われていると思われる。	児童 保護者 教職員① 地域住民							
			後期	A	後期も概ね良好である。個々の児童に合わせ、課題を設定したり発問の仕方を工夫したりできていたように思う。	児童 保護者 教職員① 地域住民							
		体験的・問題解決的な学習を充実させ、自ら考え、判断し、主体的に実践する態度を育てているか 目標値：保護者、教職員の８０％以上が肯定（３・４）	前期	A	少人数ながら、全校での話し合い活動を取り入れるなど、主体的に考え、判断し、実践する場を積極的に設定している。今後も工夫・改善を行っていきたい。	児童 保護者① 教職員② 地域住民	A	92	25	67	8	0	
			後期	A	地域の方を講師に、様々な体験活動を今年も行なうことができた。主体的、意欲的に児童は活動していると思われる。ただ、指示待ちの姿勢が見受けられる児童も見られるので、その点は支援等の仕方を改善していく必要がある。	児童 保護者① 教職員② 地域住民	A	92	42	50	8	0	
		指導過程、指導法の工夫を図り、豊かに表現する力を育てているか 目標値：保護者、教職員の８０％以上が肯定（３・４）	前期	A	A評価とはなっているが、自分の気持ちを文章や言葉で十分に伝えきれない児童も見られる。文法や語彙力など基礎的な部分が十分ではないところもあるので、後期は特にその点を重点的にやりたい。	児童⑫ 保護者② 教職員③ 地域住民	A	100	92	8	0	0	
			後期	B	表現力は、今年度より本校で重点的に指導していこうとしている力であるが、後期はAからBへと下がっている。個々の課題が見えてきたものの、解決への手立てが不十分で、児童の課題意識だけが残ったままになっている状態だと思われる。	児童⑫ 保護者② 教職員③ 地域住民	B	83	66	17	17		
		家庭学習の習慣が身に付いているか 目標値：児童、保護者、教職員の８０％以上が肯定（３・４）	前期	A	比較的家庭学習はよく行っている。学年に応じた内容かと言われると、疑問符が付く部分もある。小規模校の特性を活かし、その子にあった学習が家庭でもできるよう工夫したい。	児童① 保護者③ 教職員④ 地域住民	A	92	59	33	8	0	
			後期	B	AからBへと下がっている。児童、保護者の評価はあまり変わっていないが、教職員の評価が下がった。自主勉強の内容をより求める意見が出ていた。時間だけでなく、内容にもより触れていきたい。	児童① 保護者③ 教職員④ 地域住民	B	84	34	50	8	8	
		道徳教育の充実	自他の生命を尊ぶ、優しい心を育てているか 目標値：児童、保護者、教職員、地域住民の８０％以上が肯定（３・４）	前期	A	高評価となっている。前年度にも挙げたが、家庭・地域の力によるところが大きい。学校も連携しながら、縦割り活動等の充実を図りたい。	児童⑧ 保護者④ 教職員⑤ 地域住民①	A	100	75	25	0	0
				後期	A	後期も高評価となっている。今後も学校、家庭、地域で連携しながら指導していきたい。	児童⑧ 保護者④ 教職員⑤ 地域住民①	A	92	75	17	8	0
			人とふれあい、思いやりの心・感謝の心を持ち、自ら実践する態度を育てているか 目標値：保護者、教職員、地域住民の８０％以上が肯定（３・４）	前期	B	「言葉遣い」が大きな課題であったが、随分改善されてきたように思う。今後も、「言葉遣い」を児童に意識させ、指導していきたい。	児童⑨ 保護者⑤ 保護者⑧言葉 教職員⑥ 教職員⑩言葉 地域住民② 住民③言葉	A	92	33	59	8	0
				後期	C	前期に続き、「言葉遣い」が大きな課題である。注意ばかりとなっているので、自己評価もさらに下がっている感じはあるが、できていないのは事実である。人を見て態度を変える面が見られるので、その面も含め指導していかなければならない。	児童⑨ 保護者⑤ 保護者⑧言葉 教職員⑥ 教職員⑩言葉 地域住民② 住民③言葉	C	67	34	33	25	8
	学校は、各学年の発達段階を考えながら、人権・同和教育を適切に行っているか。 目標値：保護者、教職員、地域住民の８０％以上が肯定（３・４）		前期	A	A評価とはなっているが、地域教材作りができていない。地域の教育力を活かした教材作りを行いたい。	児童 保護者⑩ 教職員⑦ 地域住民⑤	B	84	16	68	16	0	
			後期	A	A評価とはなっているが、部落差別解消法の具現化に向けた取り組みが、不十分だと感じている。	児童 保護者⑩ 教職員⑦ 地域住民⑤	B	84	16	68	16	0	
	読書活動を通して、豊かな感性や創造力を育てているか 目標値：児童、保護者、教職員の８０％以上が肯定（３・４）		前期	B	一昨年から比べると、徐々に評価は上がってきているものの、不十分である。今後もみきちゃん通帳の活用を行うとともに児童の一言感想紹介等の活動も取り入れたい。	児童⑪ 保護者⑥ 教職員⑧ 地域住民	B	84	50	34	8	8	
			後期	B	読書量だけでなく、図書紹介をしたり、みきちゃん通帳を持ち帰り、定期的に家庭で確認したりする活動にも力を入れた。全体の肯定率はやや上がっている。	児童⑪ 保護者⑥ 教職員⑧ 地域住民	B	84	16	68	8	8	
	学校関係者評価委員の所見	●学校（教師）と学童やわんぱく塾とで差がある。学童やわんぱく塾は、学校と目的や活動が違っていて、少し息抜きの場合とはなっているが、目上の人への言葉遣いは直していかなければならない。				学校の対応	言葉遣いの評価がさらに下がっている。前期の結果からさらに課題意識を持ったということもあるが、実際改善されていない。「時と場、状況」ということを挙げてきたが、低学年には難しいので、常に丁寧な言葉で話す習慣を学校や家庭、地域で連携して指導していきたい。読書については、みきちゃん通帳を使つての保護者への読書量の報告や定期的な読書感想発表会の実施が好結果へとつながった。						

生徒指導	生徒指導の徹底	挨拶運動、清掃活動を中心に、基本的生活習慣の形成が図れているか	前期	A	高評価となっている。挨拶等は人間関係を築く第一歩でもある。今後も指導の充実を図りたい。	児童②あい 児童③清掃 保護者⑦ 教職員⑨ 地域住民④	A A A B A	100 100 92 80 96	59 83 50 20 48	41 17 42 60 48	0 0 8 20 4	0 0 0 0 0
		目標値：児童、保護者、教職員、地域住民の８０％以上が肯定（３・４）	後期	B	B評価となった。挨拶が主な原因である。「声が出ない。」「相手を見ていない。」など理由ははっきりしているので、その点を重点的に指導していきたい。	児童②あい 児童③清掃 保護者⑦ 教職員⑨ 地域住民④	C A B B A	75 100 84 83 96	58 75 34 0 44	17 25 50 83 52	17 0 16 17 4	8 0 0 0 0
		いじめ、不登校問題への積極的な対応ができているか	前期	A	この項目も高評価とはなっている。ただ、この問題は命にも関わる問題なので、今後とも未然防止、早期対応、早期解決を常に心がけたい。	児 童 保護者⑨ 教職員⑩ 地域住民		100 100	33 20	67 80	0 0	0 0
		目標値：保護者、教職員の８０％以上が肯定（３・４）	後期	A	重大ないじめ、また、不登校といったことが起こっていないものの、これらの問題はいつ起こるか分からない。しっかりアンテナを張り、未然防止、早期対応・解決に心掛けたい。	児 童 保護者⑨ 教職員⑩ 地域住民		100 100	16 17	84 83	0 0	0 0
	学校関係者評価委員の所見	○概ねよいのではないかと。			学校の対応	「あいさつ」の児童の評価が下がった。「声が小さくなった。」と自分たちで理由もはっきりしているので、その点を中心に教師の声掛けも行なっていきたい。いじめ、また、不登校について、後期も大きな問題はなかったが、学校・家庭・地域が連携し、些細な変化も見逃さず、未然防止、早期対応、早期解決を図っていきたい。						
保健管理	健康教育の推進	早ね、早起き、朝ごはんの習慣は定着しているか	前期	B	昨年に続きB評価のままである。「早寝」が課題となっている。家に帰ってから、やるべきことが多いのもあるが、時間の使い方を再検討させ家族で話し合う時間を設けていくよう促していきたい。	児童④寝起 児童⑤ご飯 保護者⑪ 教職員⑫ 地域住民	C A A B	76 92 92 80	59 67 25 0	17 25 67 80	24 8 8 20	0 0 0 0
		目標値：児童、保護者の８０％以上が肯定（３・４）	後期	C	昨年度もそうだったが、早寝、早起きの評価が、後期下がる傾向にある。気の緩みやネット、ゲーム等が要因である。健康に関する全校参観授業も実施したところでもあり、再度規則正しい生活、睡眠の大切さを児童にしっかり意識させたい。	児童④寝起 児童⑤ご飯 保護者⑪ 教職員⑫ 地域住民	B A C C	83 100 75 67	75 92 25 17	8 8 50 50	9 0 25 33	8 0 0 0
		個に応じた体力づくりはできているか 体幹等も鍛え、正しい姿勢が維持できるか 目標値：児童、保護者、教職員の８０％以上が肯定（３・４）	前期	B	体力づくりという面では、今までの伝統を引き継ぎよくできているように思う。ただし、昨年から課題としている姿勢の評価が低かった。昨年に比べると改善はされているが、体幹のトレーニングもあわせ指導を継続したい。	児童⑥体力 児童⑩姿勢 保護者⑫ 教職員⑬体力 教職員⑭姿勢 地域住民	A C A B C	100 68 92 80 60	100 34 67 40 0	0 34 25 40 60	0 25 8 20 20	0 7 0 0 20
		後期	B	姿勢が崩れが気になる児童がまだ多い。集中力が続かない面もあるが、体幹の弱さと姿勢の悪さは大きく関係している。今後も体幹を鍛える運動は体育の授業に積極的に取り入れていきたい。	児童⑥体力 児童⑩姿勢 保護者⑫ 教職員⑬体力 教職員⑭姿勢 地域住民	A C A A B	100 66 100 100 83	92 58 34 33 0	8 8 66 67 83	0 34 0 0 17	0 0 0 0 0	
	学校関係者評価委員の所見	○今年度、６年生の運動面での活躍はすごかった。６年間の成果であろう。 ●早寝ができないのは、大人も含め、全体が夜遅くなっていることが原因。大人も改善せねばならない。 ●見通しを立て、段取りよく時間を有効的に使えない子が増えてはいないか。			学校の対応	昨年も、早寝ができなくなる傾向が見られたが、今年度も同様であった。課題意識が薄れていっていることもあるので、今年度は、学校保健委員会で生活習慣について保護者もいっしょに学ぶ機会を設けた。今後も睡眠がなぜ大切なのか定期的に情報発信していきたい。時間を有効的に使えていないのではないかとという指摘も受けた。５・６年生で一日の生活を見直す学習があるが、そのような学習を低・中学年でも行なうとともに、普段から「計画を立てる」という習慣を家庭とも連携しながら身に付けさせていくようにしたい。						
	保護者・地域との連携	地域に根ざした特色ある学校づくり	地域の人材や教育資源を生かした体験的な学習を推進しているか	前期	A	高評価となっている。毎年思うが、地域、保護者の方々の協力に本当に感謝である。	児 童⑬ 保護者⑬ 教職員⑮ 地域住民⑥	A A A A	100 100 100 100	92 67 80 70	8 33 20 30	0 0 0 0
目標値：児童、保護者、教職員、地域住民の８０％以上が肯定（３・４）			後期	A	後期も、多くの地域の方の協力を得て「ふるさと学習」を進めることができた。ふるさとが好きな児童が大変多く育っているように思う。	児 童⑬ 保護者⑬ 教職員⑮ 地域住民⑥	A A A A	92 100 100 100	84 58 67 78	8 42 33 22	8 0 0 0	0 0 0 0
児童の活動の充実をめざし、公民館、老人クラブ、住民自治組織されだにとの連携に努めているか			前期	A	様々な情報を学校からだけでなく、保護者、地域からもいただいていることに感謝している。今後も、積極的に保護者、地域との連携を図っていきたい。	児 童 保護者⑭ 教職員⑯ 地域住民⑦		100 100 100	58 40 66	42 60 30	0 0 4	0 0 0
目標値：保護者、教職員、地域住民の８０％以上が肯定（３・４）			後期	A	地域の方々と連携しながら、行事や授業等を今年も進めることができたように思う。どちらかと言えば、学校が助けてもらうことの方が多い。本当に感謝である。	児 童 保護者⑭ 教職員⑯ 地域住民⑦		100 100 100	58 67 83	42 33 17	0 0 0	0 0 0
学校関係者評価委員の所見		○よくできている。			学校の対応	ふるさと学習は、本校の教育の柱でもあり、教育的効果も高いと考えている。やや、マンネリ化から地域学習が薄れてきた部分もあるので、そのあたりは改善を図りながら今後も地域に根ざした学習を展開していきたい。						

研修	教職員の資質と指導力の向上	計画に沿って研究授業を行い、授業改善に積極的に取り組んでいるか	前期	A	A評価となっではいるが、次年度の学習指導要領の改訂に向かい、さらに研修の充実を図らなければならない。	児 童										
						保護者										
						教職員⑦	A	100	0	100	0	0				
						地域住民										
		目標値：教職員の８０％以上が肯定（３・４）	後期	A	A評価とはなっているが、次年度、円滑なスタートが切れるようさらに研修を充実させたい。	児 童										
					保護者											
					教職員⑦	A	100	25	75	0	0					
					地域住民											
	教職員のコミュニケーション能力は高まっているか		前期	A	高評価とはなっている。業務改善、学校・家庭・地域連携によるPDCAサイクルの確立にもつながることなので、今後も重点課題としていきたい項目である。	児 童										
						保護者⑮	A	92	42	50	8	0				
						教職員⑮	A	100	25	75	0	0				
						地域住民⑧	A	96	71	25	4	0				
		目標値：保護者、教職員、地域住民の８０％以上が肯定（３・４）	後期	A	A評価とはなっているが、大事には至らなかったものの意思疎通が不十分で起こったミスもあった。児童、保護者、地域そして、教職員同士しっかり連携し、課題を共有し指導等に当たらなければいけない。	児 童										
				保護者⑮	A	92	42	50	8	0						
				教職員⑮	A	100	40	60	0	0						
				地域住民⑧	A	100	74	26	0	0						
	学校関係者評価委員の所見	○教職員数が少ない中、よく頑張っていた			学校の対応	高評価を後期もいただいていることを非常にうれしく感じている。今までと同じ回答にはなってしまうが、本校の特色は、学校、家庭、地域の距離感が近く、三者が課題を共有し指導できる点である。今後も家庭、地域との連携を軸によりよい教育活動が行えるよう努力したい。										

安全管理・施設管理	安全安心でうるおいのある学校づくり	安全確保のための見守り活動は充実しているか	前期	A	他県では、登校時の事件が課題となった。よそ事に思わず、常に危機意識をもって見守り活動の充実を図っていきたい。	児 童⑦	A	100	83	17	0	0				
						保護者⑮	A	100	50	50	0	0				
						教職員⑮	A	100	20	80	0	0				
						地域住民⑨	A	96	54	42	4	0				
			目標値：児童、保護者、教職員、地域住民の８０％以上が肯定（３・４）	後期	A	通学路等は、学校、委員会だけでなく区長さんも協力して要望していただいたり改善していただいたりした。見守り活動にも、保護者、地域の方々が積極的に関わってくださっていること本当にうれしく思う。	児 童⑦	A	100	100	0	0	0			
						保護者⑮	A	100	50	50	0	0				
						教職員⑮	A	100	33	67	0	0				
						地域住民⑨	A	100	61	39	0	0				
		落ち着いた元気が出る、教室環境、校内掲示、屋外環境の整備が進んでいるか		前期	A	保護者、地域の方にも協力いただいていることに本当に感謝したい。子どもたちが安全に楽しく学校生活が送れるよう今後も環境整備に努めていきたい。	児 童									
							保護者⑦	A	100	33	67	0	0			
							教職員⑮	A	100	20	80	0	0			
							地域住民⑩	A	96	63	33	0	0			
		目標値：児童、保護者、教職員、地域住民の８０％以上が肯定（３・４）	後期	A	職員が少なく行き届かない部分は、保護者の方や地域団体の方々に助けていただき、後期も安全な環境の中で日々の教育活動を行なうことができている。本当にありがたい。	児 童										
				保護者⑦	A	100	50	50	0	0						
				教職員⑮	A	100	33	67	0	0						
				地域住民⑩	A	100	61	39	0	0						
	学校関係者評価委員の所見	いつもきれいに整備されているように思う。			学校の対応	通学路危険箇所への対応、春と夏2回にわたる奉仕活動など保護者、地域の方が積極的に環境整備に当たっていただいている点本当にありがたいことである。今後も、学校だけでは対応できないこともあるので、保護者や地域の協力しながら、児童が安心して安全に生活できる学校環境の整備に力を入れていきたい。										

ご意見等

- 少人数での学校生活の中で、競争心やコミュニケーション能力が身に付いていくのか、少し不安である。(保)
- 行儀が悪い子もいる。(地)
- 相手を見てあいさつできるようにしたい。(教)
- 時と場に応じた言葉遣いはできていない。(教)
- 教職員も「くん」「さん」づけで呼ばなければならない。(教)
- 学童での言葉遣いはできていない。(教)
- 朝食の中身の指導も必要だ。(教)
- 姿勢は個人差がある。(教)
- △ 道徳科で学習したことが、日々の生活態度につながる適切な声掛けに努めたい。(教)
- 早寝、早起きは以前よりはよくできてきたように思う。(教)